

【資料 1】 令和 6 年度DX予算方針(最終案)

デジタル化推進本部事務局
(総務部 情報戦略課)

<将来像・ロードマップの実現>

<政府・府省庁の動向>

<令和5・6年度の取組方針>

<重点目標等>

令和6年度 DX予算方針

本部会議

通知等

庁内・部会等

- 第1回会議(4月)
 - 将来像の共有(前半)
 - 令和6年度予算方針(骨子)
 - 部会等の設置について(案)
- 第2回会議(5月)
 - 将来像の共有(後半)
 - Kintoneの庁内取組紹介
 - その他協議事項
- 第3回会議(5月)
 - 令和6年度DX予算方針・照会について
 - 部会での検討状況について
 - その他協議事項(市民ポータル等)

政府骨太方針等の公表
(6月上~中旬)

- 第4回会議(7月)
 - 各部会の進捗共有
 - 導入計画に関する通知(案)
 - 各種情報共有 等

府省庁概算要求
(8月末(概ね31日))

- 第5回会議(9月)
 - 各部会の進捗共有
 - 導入計画ベースの令和6年度取組イメージ共有
 - (仮)デジ田交付候補(骨子)の共有
 - 各種情報共有 等

- 令和6年度DX予算方針
- ◎令和6年度DX予算調査依頼(追加)
- ◎DX将来像に関する示唆(追加)

- ◎令和6年度DX予算一次回答(追加)

- 概算要求のポイント共有

- ◎令和6年度DX予算最終回答(追加)

□将来像・ロードマップ・重点目標等に基づく令和6年度予算・取組の検討

※政府方針・DX予算方針等に基づく検討内容修正

□導入計画提出準備

○導入計画提出期限(8月中旬)

※概算要求等を踏まえた予算要求内容・国庫補助活用の整理・検討

□予算要求準備

<方針の考え方>

- 各種方針等を踏まえ、令和6年度のDX予算方針は以下の分野を重要視していく。
- 将来像・重点目標等の位置づけや必要性、各部室局としての方針が明確に説明・理解できるものを優先する。**
- また、デジ田交付金の活用などが予算検討の段階から想定されているものを優先・重要視する。**

【方針1-1】 市民サービス向上

- DXが果たす役割の最優先事項は「市民サービスの向上」。それらを楽しみながら暮らしを楽しめる、選択される自治体として新たな豊田市を創出していく。
- そのために当面必要な事項を予算として重要視する。
 - ・オンライン申請関連(LINE・キャッシュレス含む) ・マイナンバーカードの活用
 - ・窓口改革 ・市民等ポータルサイトの実装
 - ・住民支援に関するデジタル技術活用(見守り・デバイド対策・相談支援)

【方針1-2】 事業者サービス向上

- DXが果たす役割の最優先事項は「市民サービスの向上」。それは事業者も同様であり、本市が事業者にとって活動しやすい豊田市を創出していく。
- そのために当面必要な事項を予算として重要視する。
 - ・オンライン申請拡充(工事申請、補助金申請) ・DX推進の支援(新技術活用含む)

【方針2】 官民連携 × 先進技術活用

- DXの土台であるデジタル技術は日々進化し、多様な可能性が日々生まれている。また、データ連携・AIの進化なども加速度的に進展。これらを賢く活用しながら地域課題を解決する視点、官民連携の視点が必須。
- それにチャレンジしていく予算を重要視する。
 - ・官民連携/課題解決 ・メタバース・3D・VR ・AI活用(生成AI含む)
 - ・農業・林業・医療・健康・水道・eスポーツでのデジタル技術活用

【方針3】 業務・働き方改革

- DXは、デジタル技術を活用した業務改革である。この考えを念頭におきDXを進め、職員の負担軽減、事務ミス「0」、業務効率化を着実かつ確実に実現する。
- そのために当面必要な事項を予算として重要視する。
 - ・自治体業務システムの統一化・標準化 ・内部事務改革の実現(職員ポータル)
 - ・ローコード・ノーコードツールの活用
 - ・働き方改革(フリーアドレス、ペーパーレス、テレワーク等)
 - ・データベース・データ(ナレッジ含む)管理による業務効率化